

恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備
基本計画（素案）

令和5年5月
柏原市

恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本計画（素案）
目 次

1. 恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備の経緯と概要	1
2. 現状の把握	1
3. 現状の把握から導き出される課題の整理	4
4. 内部検討会の開催	6
5. 市民アンケートの実施と調査結果	7
6. 基本方針	7
7. 整備プラン図（素案）	10
8. 今後の課題	10

1. 恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備の経緯と概要

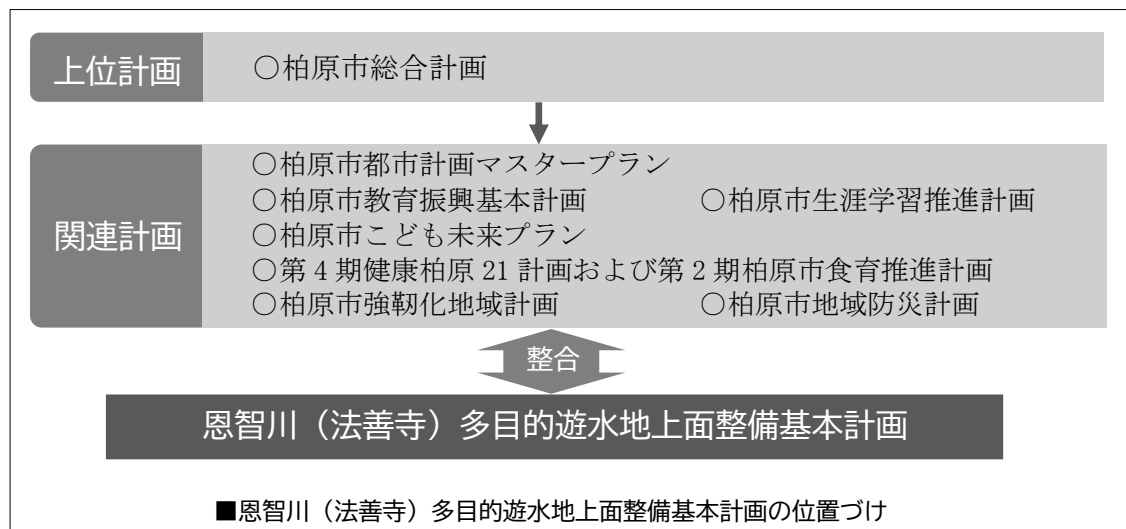
恩智川（法善寺）多目的遊水地事業は、寝屋川流域を洪水から守るため、寝屋川流域総合治水対策の一環として大阪府が整備をすすめています。当該地の東側は柏原市立堅下北スポーツ広場として平成 31 年 3 月 31 日に完成し、その後は市民の皆様を始め、多くの団体に利用していただいております。

西側（約 4.7ha）の上面利活用に当たっては、第 5 次柏原市総合計画に基づき、本市の将来を展望したまちの将来像「選ばれるまち柏原～豊かな自然 伝統ある産業 歴史・文化、教育 みんな笑顔で住みよい 柏笑～」の実現に向けて取り組み、まちづくり分野ごとのビジョン「生涯に渡る学びの機会があり、やさしさと思いやりを育むまち」として、生涯に渡る、学びとスポーツ活動に向けて、継続的な機会の提供を推進するため、都市施設の整備に向けた基本計画を策定するものです（別添 1 参照）。

2. 現状の把握

（1）上位・関連計画の把握

基本計画の策定を進めるにあたり、関連する計画の整理を行う必要があります（別添 2 参照）。



上記における各計画の方針や取組内容を確認し、まとめた結果として以下 3 つのキーワードとなりました。

◆キーワード①「健康づくり・体力づくり」

- ・生涯に渡る学びとスポーツ活動の機会提供
- ・多目的なスポーツに対応する公園整備の推進
- ・生涯における体力づくりの推進
- ・市民がスポーツ施設を安心・安全に利用できる環境整備
- ・スポーツを始めるきっかけづくり、身近な場所でスポーツを行う機会の提供
- ・介護予防の観点から自分の体力に合わせた運動ができるような支援

◆キーワード②「地域づくり・まちづくり」

- ・緑あふれるまちづくり
- ・スポーツ施設や生涯学習施設を有効活用し、子どもの生きる力を育成や地域コミュニティの育成
- ・放課後の安心で安全な活動場所の確保
- ・子どもたちの安全な居場所を確保と、柏原市の環境を活かした体験学習の実施

◆キーワード③「防災のまちづくり」

- ・災害時における公園の利活用の検討
- ・災害時の避難場所の確保、火災の延焼防止、各種災害応急活動、応急物資集積の基地等の施設としての防災空間を確保

(2) 計画対象地の分析及び既存施設等の現状確認

計画対象地は八尾市との市境に位置し、隣接して柏原市立堅下北小学校や大阪府立八尾翠翔高等学校があります。また、東隣には平成 31 年 3 月 31 日に完成した堅下北スポーツ広場が供用を開始しており、団体利用から個人利用まで幅広く利用されています。令和元年度の稼働率は平日が 18.6%、休日が 91.3% となっており、特に休日は希望者が多いため抽選が行われています。

上面整備の条件として B ゾーン、C ゾーン、常時池は大県郡条理遺跡と山ノ井遺跡の範囲となっており、新たな掘削はできません。また、計画貯水容量が確保できないような盛土・施設等の設置はできません。その他には関西電力の鉄塔が存在するといった条件があります（別添 3 参照）。

(3) 柏原市内の体育施設及び公園施設

a. 体育施設

体育施設の設置状況としては以下のとおりです。

種別	施設名	施設内容
体育館	オーエンスアリーナ	体育室、トレーニング室、卓球室
	オーエンス第二アリーナ	体育室、更衣室
	柏原中学校屋内運動場	体育室（バレーボール 2 面ほか）、柔剣道室
庭球場	片山庭球場	砂入人工芝 4 面、夜間照明、管理棟
	堅下庭球場	クレートコート 2 面、管理棟、駐車場
	サンヒルススポーツセンター庭球場	ハードコート 4 面、オムニコート 1 面
グラウンド	東山運動場	グラウンド 1 面、サッカーゴール（少年用）
	円明運動広場	グラウンド 1 面、サッカーゴール（片側）
	堅下北スポーツ広場	グラウンド、多目的広場、更衣室、トイレ、事務室、倉庫、駐車場、駐輪場
水泳場	サンヒルススポーツセンター屋外プール	25m プール、流水プール、スライダー、児童プール、幼児滑り台、更衣室、休憩所、レストハウス

主な体育施設の利用者数として体育館ではオーエンスアリーナ、庭球場では片山庭球場の利用者が多くなっています。片山庭球場や堅下庭球場は令和 2 年度以降、コロナ禍の影響を受けていますが、屋外施設と比べると影響の度合いは少なくなっています。

体育種目別利用者で見ますと、体育館（オーエンスアリーナ）の種目別利用者数は、バスケットボール利用が最も多く、次いでバレーボール、バドミントン利用となっており、第二体育館（オーエンス第二アリーナ）の種目別利用者数は、バドミントン利用が最も多く、次いでバレーボール、剣道利用となっています。

その他として、各種団体によるサークル活動や、指定管理者が自主事業で開催している各種体育教室（ダンス・ヨガ・エクササイズ・体操等）の会場として利用されています。

b. 公園施設

公園施設の設置状況としましては次のとおりです。

種別	施設名	施設内容
公 園	大和川河川敷緑地公園	芝生広場
	龍田古道の里山公園 (スマイルランド)	セミナーハウス、テントサイト、 RVパーク、バーベキュー、イベン ト&ふれあい広場、グラウンドゴル フミニコース
	玉手山公園 ふれあいパーク	野外劇場、メイン広場(遊具)、 いこいの森、コミュニティ広場、 歴史の丘、冒険広場(遊具、一部有料)、 梅林広場
	大和川親水公園	中央イベント広場、ウォーキング・ ジョギングコース
	原川親水公園	散歩・ジョギングコース、親水、 芝生広場

竜田古道の里山公園は、市民の健康づくりやアウトドアレクリエーションのために設置された公園で、散歩や花見、軽スポーツや野外活動が楽しめる施設として利用されており、毎年4月には「竜田古道の里山公園さくらまつり」が開催されています。また、指定管理者の自主事業として、春休み子どもキャンプ、夏休み小学生キャンプ、森のがっこう(宿泊キャンプ、生き物探検)森のようちえん等、体験学習を中心に事業が行われています。利用者数は令和元年度が1.8万人となっています。

3. 現状の把握から導き出される課題の整理

(1) 現状の敷地

2. 現状の把握(2) 計画対象地の分析及び既存施設等の現状確認で述べましたが、確実に浸水する常時池、Bゾーン、Cゾーンについては施設や設備の設置を控え、浸水後の処理を考えた計画が必要となります。また、堅下北スポーツ広場では野球のファールボールを考慮する必要があります。

（２）体育施設

市内に整備されている体育施設は、主として体育館、庭球場、グラウンドであり、屋外施設としては庭球場とグラウンドとなっています。

近年は少人数でも可能な 3on3^(※1) やフットサル^(※2)、スケートボードの人も高まっていることから、施設整備の検討が必要です。

※1 バスケットボールの試合形式のことで、通常 5 人対 5 人で試合を行うバスケットボールに対し、3on3 では 3 人対 3 人で試合を行います。

※2 サッカーコートの約 9 分の 1 の広さのコートを使用し、5 人対 5 人で行われるミニサッカーです。

（３）公園

市内には 2. 現状の把握（３）柏原市内の体育施設及び公園施設 b. 公園施設の一覧表の公園以外に、大小 120 以上の公園がありますが、時代とともに広場や遊具のあり方、休日の過ごし方が変化しています。そのため、多目的に利用できる広場、芝生広場、大型遊具、インクルーシブ遊具^(※3) の設置の検討やアフターコロナに対応した公園や広場機能が必要です。

※3 体に障がいがある子も、ない子も一緒になって遊ぶことができる遊具です。

（４）市民ニーズ

過去に行われた市民対象の調査としましては以下の調査があります。

調査名	実施時期
恩智川多目的遊水地に関するアンケート調査	平成 28 年 5 月
平成 30 年度子ども・子育て支援に関するニーズ調査	平成 31 年 1 月
市民意識調査	令和 3 年 12 月
堅下北スポーツ広場利用者ニーズ調査	令和 4 年 9 月

意見の内容を集約しますと以下の 3 つにまとめられます。

①子育て支援に関して

子どもの遊び場の充実に関する意見が多くあります。具体的には遊具の設置、広いスペース、トイレやおむつ替えスペース等、子どもの成長を支援する施設の

充実が必要です。

②健康の維持に関して

設置希望が多いのはテニスやウォーキングですが、近年のオリンピックの開催や少人数でも可能な 3on3、サッカー、フットサル、スケートボード等の人気も高まっており、多様なスポーツに対応する必要があります。

③憩いの空間に関して

緑豊かな公園、親子が安心して集まれる公園への設置要望、屋外の公共空間としての機能充実が求められています。

4. 内部検討会の開催

令和 5 年度において恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備に関する基本計画（素案）を策定するため、令和 4 年 9 月に庁内から選出された若手職員を中心とした「恩智川（法善寺）多目的遊水地の上面整備に関する内部検討会（以下「検討会」という。）」が立ち上げられました。

第 1 回目は恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備に関する説明と整備中の遊水地の現地視察が行われ、検討会のメンバーからは、それぞれの業務の観点やこれまでの経験などにより、公園での過ごし方、常時池の活用方法や遊水地上面の高低差を活用した設備の設置など、様々な意見が出されました。その他、複数のスポーツ競技施設を設置する提案などもあり活発な意見交換会となりました。

検討会で出された意見をもとに遊水地上面利用に関する市民アンケート調査票を作成し、次回の検討会では市民アンケートの回答をもとに整備プラン（素案）を作成することも確認されました。

5. 市民アンケートの実施と調査結果

市民アンケートは大阪府の工事完成後における上面の利活用に関して、事前に市民の皆様のニーズを把握することを目的として、郵送調査により実施いたしました。

アンケート調査は期間を令和4年12月2日から12月23日までとし、2,000名を対象としました。2,000名のうち200名を体育協会やスポーツ推進委員等のスポーツ関係者、1,800名を市民の皆様から無作為抽出された方々を対象としました。なお、整備用地の面積（約4.7ha）により公園の規模としては堅下地区の地区公園としての位置づけとなることから、同地区にお住いの市民の皆様のご意向を十分に反映させるため、堅下地区には1,000名を対象とし、残り800名は柏原地区、堅上地区及び国分地区の居住人口に応じて按分した人数分を配付しました。

6. 基本方針

（1） 市民アンケートの結果

「遊水地上面でどのようなことがしたいですか」という設問では「軽運動（散歩・ウォーキング・ストレッチなど）」が最も多く25.0%、次いで「水辺（自然）に触れる」が15.2%、「運動（スポーツなど）」が13.7%、「子どもと遊ぶ」となっています。

「新たなスポーツ施設を整備するとしたら、どのような施設を希望しますか」という設問においては、希望が最も多かったのはテニスコートで18.0%。次いでスケボーが12.9%、フットサルが12.8%、バスケットが11.7%の順となっています。

「遊水地内で実施すればよいと思う活動や、あればよいと思う施設・設備等がありましたら具体的にご記入ください」の設問に対して、活動ではキッチンカーやフリーマーケット、施設ではウォーキング・ランニングコース、子供用遊具や健康遊具、設備では売店等の飲食、トイレ、手洗い、休憩施設（ベンチ・テーブル含む）などが意見として寄せられました（別添4参照）。

（２）内部検討会の結果

ａ．第２回目検討会

市民アンケートの結果と第１回検討会で委員から出された意見等を踏まえ、基本方針を以下のように定めました。

- ・ Aゾーンは運動施設を中心とした整備を行います。その他のゾーンは使い方を固定した整備は行わず、まずは暫定的な利用を前提とした多目的空間とします。
- ・ 多目的空間はフレキシブルさを活かし、ソフトな取組を充実させます。
- ・ 空間を使いながら、利用ニーズに合わせた広場を作っていきます。

検討会としての「整備プラン（素案）」をまとめるために令和５年２月に２回目の検討会が開催されました。

意見交換では、「整備プラン（素案）」および「各担当課で想定されるソフトな取組」をテーマに、遊水地の上面をどのように利活用できるか、基本方針をもとに具体的な施設の配置や設備の導入、またそれぞれの担当課で実施している事業等をもとに行う遊水地上面の利活用について、２つのグループに分かれて意見交換を行いました。

各ゾーンの活用方法については、２つのグループに共通して次のような提案されました（各ゾーンの区分は「別添３」を参照）。

- ・ Aゾーン 浸水の頻度が低いことから、スポーツ施設や高低差を活用した遊具を設置する複合スペース。
- ・ Bゾーン 浸水する頻度が高いことをあらかじめ想定して、多目的広場を中心としながら一部にスポーツ施設を設置することで幅広い世代が活動し、憩えるスペース。
- ・ Cゾーン アーバンスポーツなど、若い世代に活用いただけるスペース。

b. 第3回目検討会

令和5年3月に第2回検討会での意見をもとに、事務局（整備担当課）で整備プラン（素案）を作成し、検討会メンバーと事務局で意見を交わしました。

【事務局で作成した整備プラン（素案）】

	案①	案②	案③
Aゾーン	スポーツ施設、遊具広場、レジャーゾーン、トイレ、更衣室	スポーツ施設、遊具広場、トイレ、更衣室	多目的運動施設、スポーツ施設、遊具広場、トイレ、更衣室
Bゾーン	遊具広場、スポーツ施設、多目的広場、レジャーゾーン	多目的運動場、遊具広場、芝生広場、レジャーゾーン	多目的運動広場、スポーツ設備、レジャーゾーン
Cゾーン	スポーツ施設	スポーツ施設	スポーツ施設
外 周	ウォーキング・ランニングコース		

意見交換では、まず事務局から各案それぞれを作成する際に考慮した点や、段階的に案③を作成するに至った経過について説明を行い、検討会メンバーからは各ゾーンに設置する設備や配置する施設に関する意見や、各自が担当する事業等における活用方法、必要な設備等について意見交換を行いました。

検討会としての整備プラン（素案）における各ゾーンの活用方法は以下のとおりです。

- ・ **Aゾーン** 洪水時に浸水の頻度が低いことから、ネットを設置するスポーツ施設や高低差を活用した遊具を設置する複合スペース。
- ・ **Bゾーン** 洪水時に浸水する頻度が高いことをあらかじめ想定して、多目的運動広場や芝生広場を中心としながら一部にスポーツ設備や遊具、レジャーゾーンを設置することで幅広い世代が憩えるスペース。
- ・ **Cゾーン** 洪水時に2番目に浸水するエリア。アーバンスポーツなど、若い世代に活用いただけるスペース。
- ・ **外周道路** ランニング・ウォーキングなど日々の健康づくりに活用していただけるコース。

7. 整備プラン図（素案）

これまでの経過により、作成されました整備プラン図（素案）が別添 5 となります。

8. 今後の課題

2. 現状の把握（1）上位・関連計画の把握でのキーワード③「防災のまちづくり」については、危機管理課との協議において大規模火災や地震の有事の時には、一時避難場所としての利用や電気やガス、通信事業者などの復旧拠点としての運用が想定されます。協議内容を踏まえ、令和 5 年度から令和 6 年度に実施する基本設計で詳細を検討します。

多目的遊水地上面整備基本計画策定のながれ

令和4年
8月

現状の把握

- ・ 上位関連計画等の把握
- ・ 計画対象地区の分析及び既存施設等の現状確認

整備にあたっての課題抽出・整理

- ・ 現状の把握により計画対象地の整備に関する条件及び課題を抽出
- ・ 課題に対する検討事項及び事例などの整理

9月

第1回内部検討会 (9/22)

- ・ 資料説明：上位関連計画、現状、市民ニーズの傾向、他都市の遊水地の事例
- ・ 現地確認：敷地の高低差、広さについて確認
- ・ 意見交換：9人がA班とB班に分かれ導入機能について検討
平面図(A0模造紙)にポストイットを貼付け意見を集約

10月～
12月

市民アンケートの企画・配布

- ・ 配布：令和4年11月1日時点で10歳以上の市民1,800人の無作為抽出、
体育協会会員170人、スポーツ推進員30人の合計2,000人に配布
- ・ 期間：令和4年12月2日～12月23日

令和5年
1月

市民アンケートのとりまとめ

- ・ 回収：767票(回収率38.5%)
(市民666票(37.0%)、体育協会・スポーツ推進員101票(50.5%))

2月

第2回内部検討会 (2/2)

- ・ 資料説明：アンケート調査の結果、第1回内部検討会のまとめ
- ・ 意見交換：A班とB班に分かれ、整備プラン図(素案)の検討
アンケート結果を考慮しながら、スポーツ施設、遊具、広場などのボリューム及びレイアウトの検討、ソフトな取組内容の検討

3月

第3回内部検討会 (3/22)

- ・ 資料説明：A班の案、B班の案、両班の意見をまとめたWS案、WS案を基に作成した事務局の2つの案を説明
- ・ 意見交換：2案のうち、より実現性を持たせた事務局(素案)②について具体的に検討

3月～
4月

整備プラン図(素案)作成

- ・ 第3回内部検討会で出た意見を反映させた『整備プラン図(素案)』を作成

5月

第1回基本計画策定委員会 (5/9)

- ・ 基本計画(素案)及び整備プラン図(素案)について

都市計画審議会 (5/12)

- ・ 恩智川(法善寺)多目的遊水地上面整備基本計画策定の説明及び意見聴取

5月～
6月

パブリックコメント

- ・ 基本計画(素案)について

6月

第2回基本計画策定委員会

- ・ パブリックコメントの結果報告、基本計画(案)の確定

11月

都市計画審議会

- ・ 基本計画の策定報告

上位・関連計画の把握

上位計画	内 容
柏原市総合計画	【公園・緑地の基本方針】 ・市民との協働による緑あふれるまちづくりに向けて、公園や緑地の計画的な保全を推進する。また、災害時における公園の利活用について検討を推進する。 【生涯学習の基本方針】 ・生涯に渡る学びとスポーツ活動に向けて、継続的な機会を提供する。

関連計画	内 容
柏原市都市計画マスタープラン	【公園・緑地の整備方針】 ・遊水池の整備にあわせ上面を緑と多目的なスポーツに対応する公園整備を推進する 【都市防災の方針】 ・恩智川の治水対策として、多目的遊水地の整備を推進する
柏原市教育振興基本計画	【健やかな体づくりの推進】 ・地域、家庭でスポーツ活動に親しむ機会を増やすことにより、幼少期から子どもたちに運動の習慣付けをし、生涯において体力づくりに勤しむように図る。 ・授業以外の時間にも体を動かす活動の時間が確保されるよう、絶えず体力向上や生涯スポーツの意識化ができるような取組みを推進する。 【スポーツの振興】 ・市民がスポーツ施設を安心・安全に利用できる環境整備を図る。
柏原市生涯学習推進計画	【誰もが学べる学習機会の提供】 ・スポーツを始めるきっかけづくり、身近な場所でスポーツを行う多様な機会を提供する。 【地域のつながりと様々な学びへの支援】 ・子どもたちの安全な居場所を確保するとともに、柏原市の環境を活かした体験学習を実施する。 ・スポーツ施設などの既存の生涯学習施設の有効活用することにより、子どもの生きる力を育成や地域コミュニティの育成を図る。 ・目的意識あるいは目標を持って学習することを支援するために、学んだことを発表できる場、あるいは地域社会に生かせる環境整備
柏原市こども未来プラン	【放課後対策の充実】 ・放課後の安心で安全な活動場所を確保する。 【安心・安全のまちづくり】 ・公共施設等の整備や子ども連れでも外出しやすい地域環境整備に取り組む。
第4期健康柏原21計画および第2期柏原市食育推進計画	【運動・身体活動】 ・運動の楽しさを伝え、継続した運動のきっかけづくりを行う。 ・介護予防の観点から自分の体力に合わせた運動ができるよう支援する。
柏原市強靱化地域計画	【防災空間の確保】 ・災害時における避難場所の確保、火災の延焼防止、各種災害応急活動の円滑な実施のため、避難地等となる都市公園の整備の推進を図る。
柏原市地域防災計画	【防災空間の確保】 ・公園、緑地等の都市基盤施設は災害時における避難場所、避難路、火災の延焼防止のためのオープンスペースとして機能するとともに、応急救助活動、応急物資集積の基地、災害復興時の仮設住宅の建設地としても活用できる重要な施設として、防災空間の確保を図る。

上位・関連計画の方針や
取組内容の抽出

キーワード①「健康づくり・体力づくり」

- ◇生涯に渡る学びとスポーツ活動の機会提供
- ◇多目的なスポーツに対応する公園整備の推進
- ◇生涯における体力づくりの推進
- ◇市民がスポーツ施設を安心・安全に利用できる環境整備
- ◇スポーツを始めるきっかけづくり、身近な場所でスポーツを行う機会の提供
- ◇介護予防の観点から自分の体力に合わせた運動ができるような支援

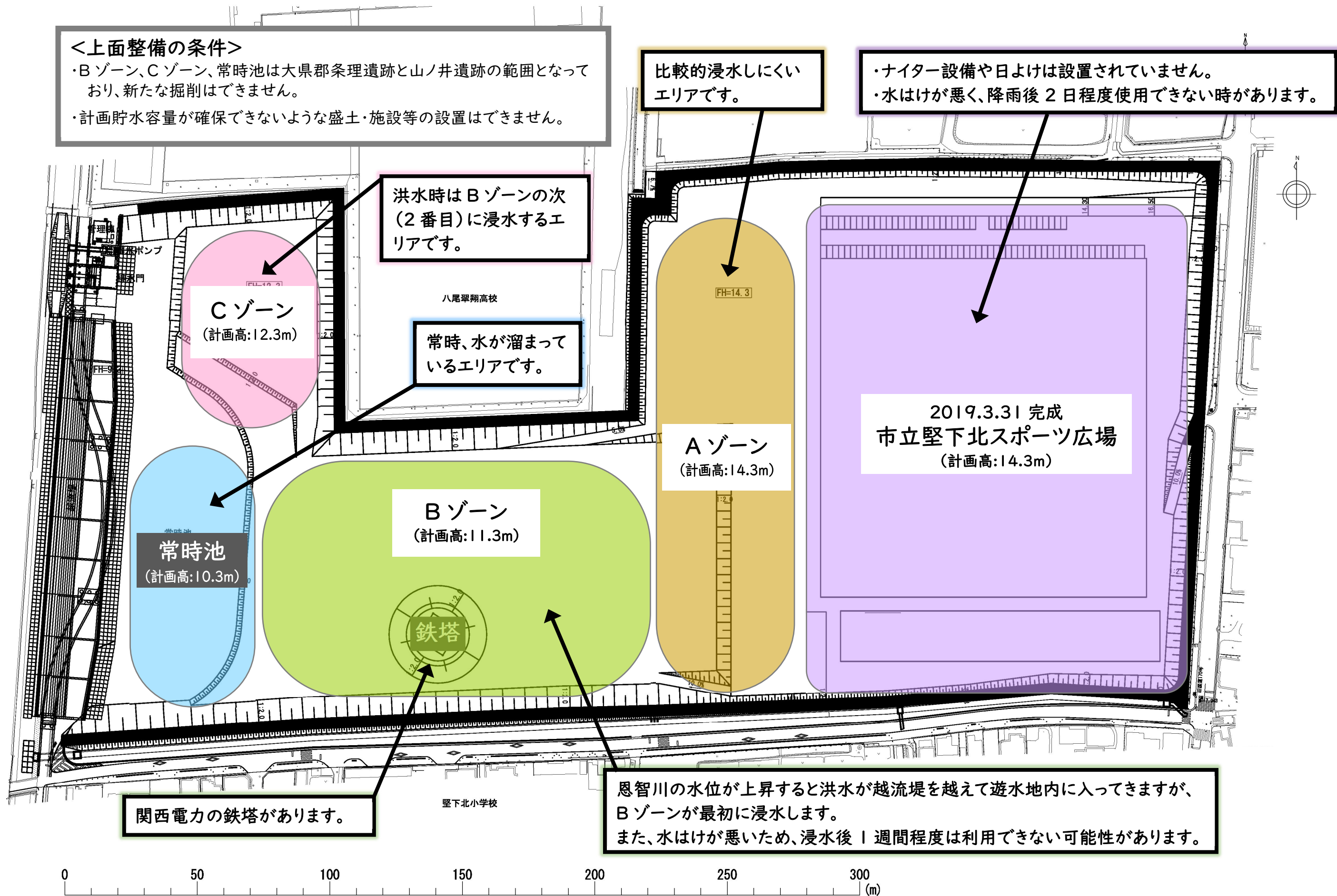
キーワード②「地域づくり・まちづくり」

- ◇緑あふれるまちづくり
- ◇スポーツ施設や生涯学習施設を有効活用し、子どもの生きる力を育成や地域コミュニティの育成
- ◇放課後の安心で安全な活動場所の確保
- ◇子どもたちの安全な居場所を確保と、柏原市の環境を活かした体験学習の実施

キーワード③「防災のまちづくり」

- ◇災害時における公園の利活用の検討
- ◇災害時の避難場所の確保、火災の延焼防止、各種災害応急活動、応急物資集積の基地等の施設としての防災空間を確保

計画対象地の敷地条件の確認



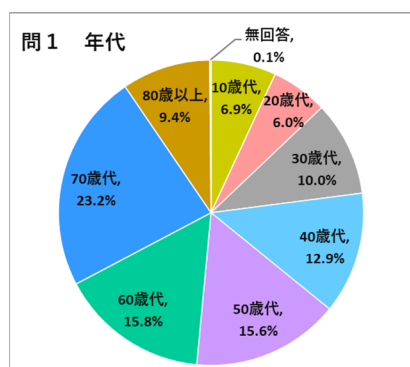
恩智川（法善寺）多目的遊水地の上面利用に関するアンケート調査結果

市民アンケート調査の概要

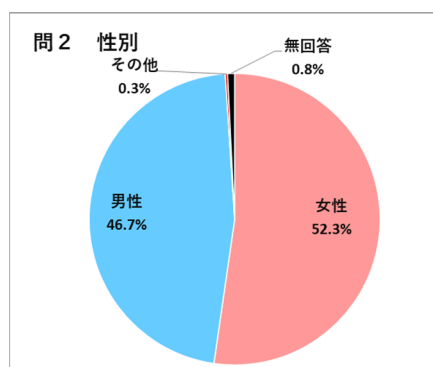
- 対 象：令和4年11月1日現在で10歳以上の市民（無作為抽出）、体育協会、スポーツ推進員
- 配布数：市民 1,800 票（郵送で配布回収）、体育協会 170 票（協会に依頼）、スポーツ推進員 30 票（郵送で配布回収）を12月1日付で配布
- 期 間：令和4年12月2日～12月23日
- 回収数：767 票（市民 666 票(37.0%)、体育協会・スポーツ推進員 101 票(50.5%)) 38.35%

市民アンケート調査の結果(抜粋)

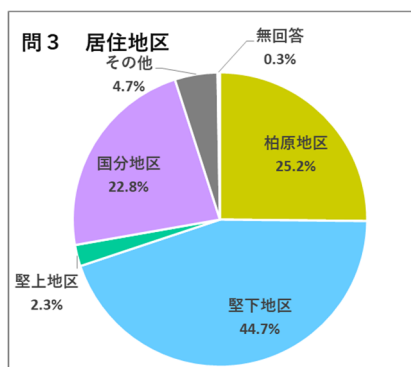
◆ 年齢



◆ 性別

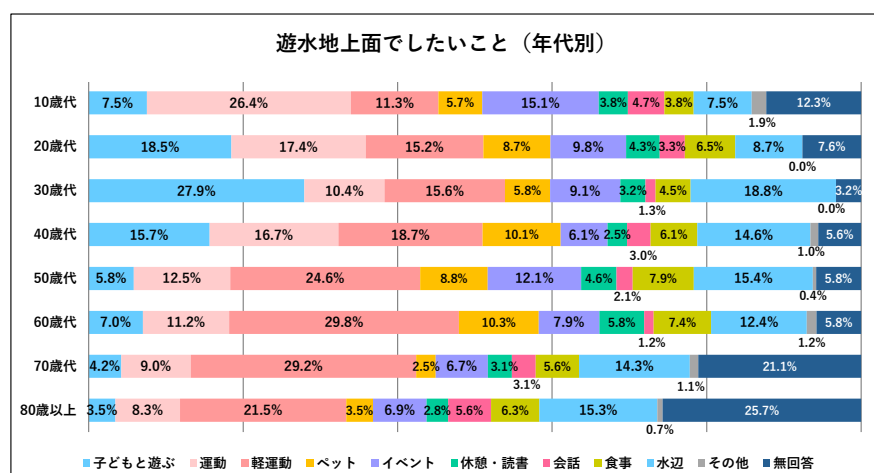
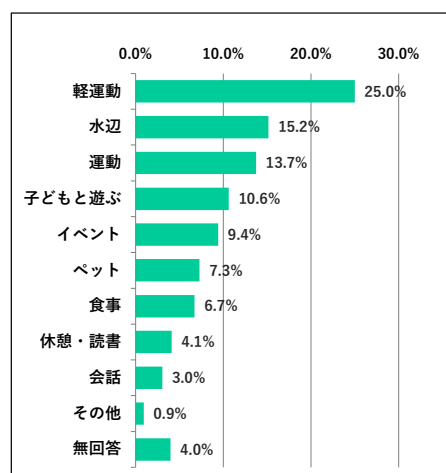


◆ 居住地域



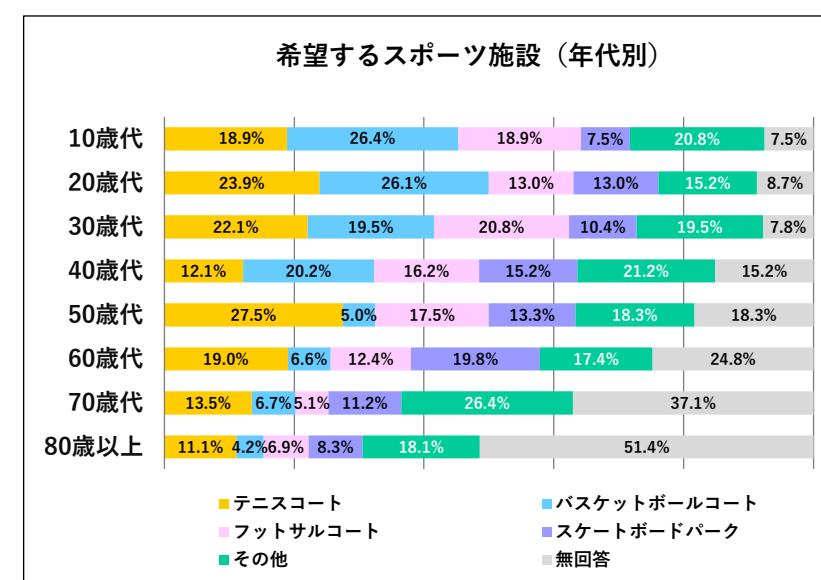
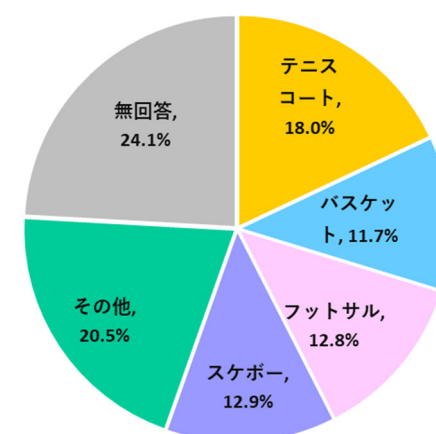
◆ 遊水地上面でどのようなことがしたいか

- ・「軽運動(散歩・ウォーキング・ストレッチなど)」が最も多く25.0%、次いで「水辺(自然)に触れる」が15.2%、「運動(スポーツなど)」が13.7%、「子どもと遊ぶ」10.6%となっている。
- ・年代別として、10歳代では「運動」が最も多く、次いで「イベント」となっている。
20歳代は「子供と遊ぶ」が最も多く、次いで「運動」。30歳代は「子供と遊ぶ」が最も多く、次いで「水辺に触れる」となっている。
- 40歳代は「軽運動」が最も多く、次いで「運動」となっている。
- 50歳代～80歳代は「軽運動」が最も多く、次いで「水辺に触れる」となっている



◆ 新たなスポーツ施設を整備するとしたら、どのような施設を希望するか

- ・希望が最も多かったのはテニスコートで18.0%。次いでスケボーが12.9%、フットサルが12.8%、バスケットが11.7%の順となっている。
- ・その他の意見として、多目的な広場(17)、ウォーキング・ランニング(11)、アスレチック(6)、野球・ソフト(6)の意見の順となっている。
- ・年代別では10歳代～40歳代ではバスケットが多く、50歳代はテニスコート、60歳代はスケボー、70歳代と80歳以上では無回答やその他が多い。



◆ 遊水地内で実施すればよいと思う活動や、あればよいと思う施設・

（カッコ）内は票数

【活動】

大規模なイベント開催以外に、小規模及び参加者募集型イベントの開催に関する意見があった。

- ・キッチンカー(37)
- ・フリーマーケット(24)
- ・各種教室(16)
- ・スポーツイベント(13)
- ・産直市、フリマ等(11)
- ・フードフェス等(8)
- ・祭り、地域イベント等(8)
- ・音楽イベント(8)
- ・多世代交流活動(5)

【施設・設備】

- ・スポーツ施設としてウォーキングが最も多い。その他はランニングコース、バスケットコート、多目的球戯場、スケボーパークとなっており、壁打ちコートへの意見もあった。
- ・公園施設として遊具、健康遊具の意見が特に多い。その他は水辺の活用、多目的広場、ドッグラン、BBQ場等の意見も多い。
- ・設備等として、売店等の飲食、トイレ、手洗い、休憩施設(ベンチ・テーブル含む)設置への意見が多い。

- | | | |
|----------------|--------------|-----------|
| ・ウォーキングコース(14) | ・遊具、健康遊具(38) | ・飲食関係(37) |
| ・バスケット(7) | ・小川や池など(19) | ・トイレ(30) |
| ・ランニングコース(6) | ・多目的広場(18) | ・手洗い(29) |
| ・多目的球技場(6) | ・ドッグラン(18) | ・休憩所(26) |
| ・スケボーパーク(5) | ・BBQ場(16) | ・ベンチ(23) |
| ・テニスコート(4) | ・芝生広場(11) | ・テーブル(22) |
| ・フットサル(4) | ・アスレチック(10) | ・駐車場(7) |
| ・パークゴルフ(4) | | ・自販機(5) |
| ・壁打ちコート(2) | | ・照明(3) |
| ・サッカー(2) | | |
| ・グランドゴルフ(2) | | |

(別添 5)

恩智川(法善寺)多目的遊水地上面整備
整備プラン図(素案)

